

区分	卦(か)	卦 爻 の 本 文
3	水雷屯	ちゆん おお とお ただ よ ゆ ところ あもち なか 屯は、元に亨りて貞しきに利ろし。往く攸有るに用うる勿 れ。候を建つるに利ろし。
	初爻	はんかん てい お よ こう た よ 磐桓たり。貞に居るに利ろし。候を建つるに利ろし。
	二爻	ちゆんじよ てんじよ うま の はんじよ あだ 屯如たり。遄如たり、馬に乗りて班如たり。寇するにあら ず。婚媾せんとす。女子貞にして字せず、十年にしてす なわち字す。
	三爻	しか つ ぐ りんちゆう はい くんし きざし や 鹿に即くに虞なく、ただ林中に入る。君子は幾をみて舍 むにしかず。往けば吝なり。
	四爻	うま の はんじよ こんこう もと ゆ きち よ 馬に乗りて班如たり。婚媾を求めて往けば、吉にして利ろ しからざるなし。
	五爻	めぐみ とどこお しょうてい きち だいてい きょう その膏を屯らす。小貞なれば吉。大貞なれば凶なり。
	六爻	うま の はんじよ きゆうけつれんじよ 馬に乗りて班如たり。泣血漣如たり。

※書き下し文は、易経(上)(下)～高田 真治、後藤 基巳訳(岩波文庫)を参考にしています。